

2021年11月11日

各位

会社名 日産化学株式会社
 代表者名 取締役社長 八木 晋介
 (コード番号 4021 東証第1部)
 問い合わせ先 執行役員財務部長 大門 秀樹
 (TEL 03-4463-8404)

業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年3月期の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせします。

また、2021年11月10日開催の取締役会において、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を決議するとともに、2022年3月期の期末配当予想を修正いたしましたので、合わせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2021年5月14日発表)	172,500	43,600	44,900	34,100	239円18銭
今回発表予想 (B)	205,500	47,400	48,800	36,400	255円10銭
増減額 (B-A)	33,000	3,800	3,900	2,300	15円92銭
増減率 (%)	19.1%	8.7%	8.7%	6.7%	6.7%
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	209,121	42,530	43,893	33,470	231円73銭



Nissan Chemical
CORPORATION

(2) 2022年3月期 通期部門別連結売上高および営業利益予想数値の修正 (単位：億円)

		前回発表予想	今回発表予想	増減
売上高	化学品	346	364	18
	機能性材料	758	809	51
	農業化学品	662	658	△4
	医薬品	61	63	2
	卸売	701	751	50
	その他	234	235	1
	調整額	△1,037	△825	212
	計	1,725	2,055	330
営業利益	化学品	24	29	5
	機能性材料	238	263	25
	農業化学品	176	182	6
	医薬品	3	5	2
	卸売	22	23	1
	その他	7	6	△1
	調整額	△34	△34	0
	計	436	474	38

(3) 修正の理由

通期の業績予想につきまして、上半期の実績および下半期の見通しを踏まえ、前回発表予想を修正いたします。売上高、各利益につきましては、半導体材料製品やディスプレイ材料製品が引き続き好調に推移する見通しであることから、前回発表予想値を上回る見込みです。



Nissan Chemical
CORPORATION

2. 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	前回配当予想 (2021年5月14日発表)	前期実績 (2021年3月期 中間)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	50円00銭	48円00銭	46円00銭
配当金総額	7,127百万円	-	6,638百万円
効力発生日	2021年12月6日	-	2020年12月7日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想（2021年5月14日発表）	48円00銭	60円00銭	108円00銭
今回修正予想		64円00銭	114円00銭
当期実績	50円00銭		
前期実績（2021年3月期）	46円00銭	58円00銭	104円00銭

(3) 修正の理由

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで企業価値の向上に努め、株主の皆様への積極的な還元を図ってまいります。なお、株主還元につきましては、2019年4月に始動した中期経営計画「Vista2021」のStage IIにおいて、2020年度以降は配当性向を45%、総還元性向を75%とすることを目標としております。

上記方針および業績予想の修正を踏まえ、中間配当を前回予想の1株当たり48円から2円増額し50円、期末配当予想を1株当たり60円から4円増額し64円といたします。これにより、年間配当は1株当たり114円（配当性向44.7%）となる見込みです。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上